

令和4年度天竜川上流総合水防訓練に中部技術事務所が保有する無人化施工バックホウが参加しました。災害現場など危険な場所でも安全な位置から遠隔操作することができ、平成28年の熊本地震では実際に現地で活躍しています。今回の訓練もモニターのカメラ映像を介して遠隔操作で実演しました。

- 開催日時 令和4年5月22日（日） 9:00～12:00
- 実施場所 天竜川左岸 伊那市役所下流（長野県伊那市新田地先）
- 主催 国土交通省中部地方整備局、長野県、長野県内28市町村
- 訓練内容 夜間の復旧作業を想定した無人化施工バックホウの遠隔操作



Ku-SATの設置 (Car-SAT) *

- ヘリによる緊急調査*
- TEC-FORCE派遣
- DIMAPSIによる被害状況の報告
- 「浸水推定図」の提供
- ドローンによる被災状況調査
- UAV (無人航空機) による被災地防衛計画

按下型水位計の按下*

- 排水ポンプ車による排水作業 (メイン (伊田町) / サテライト (伊那市) / 両会場で見守り)
- 道路啓蒙
- 応急対策
- 決壊懸念の筑締め切り
- 分断区間の復旧作業の進捗の把握 (初期事故調査隊)
- トリアージ医療救護活動・被災者搬送
- 緊急物資の緊急空輸
- モバイル市役所*

◎サテライト会場 (伊那市)

長野県伊那市新田地先 (天竜川左岸 伊那市役所下流)
中央道小嵐川スマートICより車で約10分

